自民圧勝３人全員当選

組織の共産・公明は抵投票率で躍進

みんな・維新は届かず

民主現職3人を1人に絞り死守

東京都議会議員選挙

参議院選挙の前哨戦として注目された、東京都議会議員選挙は23日、投開票が行われた。練馬区(定数6)は、自民党が追い風に乗り圧勝、念願の3議席当選を果たした。前回3議席を獲得した民主党は、公認を一人に絞り、ようやく一議席を死守した。投票率は低く、前回の都議選56・65%を大きく下回り、45・28%となった。共産党は4年振りに議席を回復した。注目された第3極、みんなの党や2名を公認した維新、生活ネットは届かなかった。

解　説

今回の選挙はアベノミクスで注目される自民党が、どこまで都民の信任を得るか。政権を離れた民主党が退潮をどこまで

に止められるか。

また第3極といわれて期待も大きかった日本維新の会が、首都東京でどう評価されるか、特に石原前知事の地元だけに注目されていた。

災難は都議会選挙直前に飛び出した「慰安婦問題発言」で、橋下共同代表の切れ味鋭い発言は、街頭演説向きといわれたがまさに逆効果となって現れた。強気の2名公認で全滅する結

果となった。

また、みんなの党は、地域を大切にする政党を主唱していたが、相変わらず地域を知らない、本部主導の公認決定「組織なしの風だのみ」で自滅した。

民主党は前回3名公認し、全員当選したが、守りに徹した。中谷ゆうじが健康上の理由で立候補を辞退、野上ゆきえは、衆議院議員の柿沢未途氏と結婚、主人の選挙区東京15区(江東区)からで(2回目の当選)。

前回の公認3から、今回は1人公認で万全を期したが民主の退潮傾向は止まらず、6位の最下位当選となった。

これに引き換え、好調の自民党は現職2名の他に、すがわら一秀氏の呼び掛けもあり、区議団の推薦で、現職区議の中から当選5期のしばざき幹男を公認し必勝を期し、石破幹事長が2度の練馬入り、最終日には、安倍総裁が石神井駅頭に立つなどの応援体制を築き、全員3名の当選を勝ちとった。

組織の公明は小林けんじが、最高点で2期目の当選。共産党の松村ともあきは、公示日初日に党トップの志位委員長が練馬駅頭に立つなど全力を揚げ議席の奪還に成功した。

低投票率で大政党と組織政党が伸びる



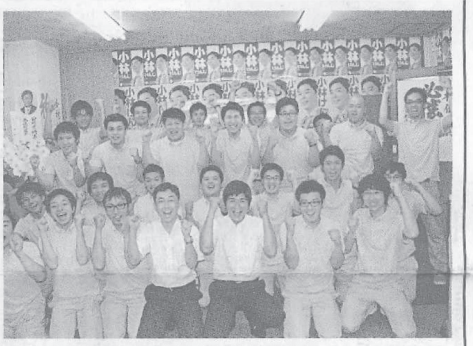
議席奪還に喜ぶ松村事務所



4期当選の高橋、今後の活躍に期待



初当選にわく、しばざき事務所



堂々の最高点得票を喜ぶ小林陣営のスタッフたち



大勢の支援者が集い万歳にわく山加事務所



23時20分、議席を死守した、あさの陣営に笑顔が

都議選・得票数（太字は当選者）

氏　名	(党派)	得票数
小林けんじ	(公・現)	**41,363**
しばざき幹男	(自・新)	**35,722**
やまかあけみ	(自・現)	**32,070**
松村ともあき	(共・元)	**31,218**
高橋かずみ	(自・現)	**28,006**
あさの克彦	(民・現)	**23,444**
藤井かおる	(み・新)	20,390
やない克子	(生・新)	20,311
あみの辰男	(維・新)	13,002
松岡りか	(維・新)	8,930